禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D21

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
３級 左官 学科試験問題
（左官作業）

1. 試験時間　１時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   （１） 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   （２） 答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   （３） 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   （４） 試験開始の合図で始めてください。
   （５） 解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
      イ． 一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ． 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ハ． 答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   （６） 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   （７） 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   （８） 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   （９） 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　鏝は、首の取付け位置により、中首鏝と元首鏝の2種類がある。

2　次図の工具は、墨つぼである。



3　木ずり下地は、漆喰塗り仕上げに適している。

4　ALCパネルは、コンクリートブロックの一種である。

5　陸墨は、切付けを決めるために打つ墨である。

6　心墨は、柱や梁等の中心線を示す墨である。

7　セメントモルタル塗りの下塗りには、それ以降に塗られる塗材の付着をよくするために、くし目を入れる。

8　壁面へのセメントモルタルの1回の塗り厚は、20mm程度がよい。

9　コンクリート床下地の不陸が著しい箇所は、仕上げ厚が均一になるようにあらかじめ不陸を調整する。

10　ALCパネル下地へのセメントモルタル塗りでは、吸水調整材塗りなどの下地調整を省略するとよい。

11　漆喰塗りの材料に糊を混入する目的の一つは、漆喰に保水性を与えることである。

12　セメントモルタル金鏝仕上げでは、必要以上に強く押さえ込むと、ひび割れや剥離が生じやすい。

13　木造直張りラスモルタル下地のラス下地板は、乾燥したものを使用してはならない。

14　1袋25kgのセメントの積み上げ高さは、一般に、30袋程度までとするとよい。

15　ネットワーク工程表は、バーチャート(棒線式)工程表よりも各関連工事との相互関係が分かりやすい。

16　足場における壁つなぎの役割は、足場の倒壊防止である。

17　左官工事において、一輪車は、材料を手押しで運ぶときに使用される。

18　左官工事現場において、セメント等で汚れた水は、直接、下水道に流してはならない。

19　タイル張り工法には、接着剤でタイルを張り付ける工法はない。

20　せっこうプラスターの主原料は、焼きせっこうである。

21　左官用の合成樹脂系混和剤には、セメント混和用ポリマーと水溶性樹脂がある。

22　SL(セルフレベリング)材は、壁塗り工事に適している。

23　漆喰(しっくい)は、水中でも硬化する。

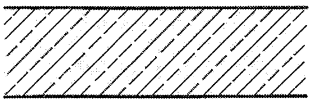
24　既調合セメントモルタルとは、あらかじめ工場などで結合材料、骨材、混和材料などが混合されたものをいう。

25　筋かいは、モルタル下地材のことである。

26　あらかじめ工場などで製作した鉄筋コンクリート部材を、プレキャストコンクリートという。

27　幅木とは、壁の最下部で床に接する箇所に設けた横材をいう。

28　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の材料構造表示記号は、左官仕上を表す。



29　建築基準法関係法令によれば、建築工事等における工事用材料は、その倒壊、崩落等による危害の少ない場所で安全に集積しなければならない。

30　労働安全衛生法関係法令によれば、移動はしごの幅は、30cm以上とする。